

令和7年度牧草類優良品種選定試験  
（イタリアンライグラス）

井手上 奈央、笹田 布佐子、眞鍋 大明、渡邊 朋子、藤井 耕児

Selection test for excellent variety of grasses  
（Italian ryegrass）  
（2024.9～2025.9）

Nao IDEGAMI、Fusako SASADA、Hiroaki MANABE、Tomoko WATANABE、Koji FUJII

要 約

市販のイタリアンライグラス〔極早生2品種、早生3品種〕を栽培し、それぞれの収量について調査した。

その結果、12月中に1回目の刈取りを行い（年内刈り）、翌春の1番草（春1番）、2番草（春2番）の合計3回の乾物収量（kg/a）で比較したところ、極早生では「Kyushu1」が安定して高収であり、早生では生草収量・乾燥収量とも、「INZ-19」が最も多く、次いで「タチマサリ」、「はやまき18」であった。

緒 言

イタリアンライグラスについては数多くの品種（銘柄）の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」（改訂6版）に基づき栽培収穫し、それぞれの収量について調査した。

方 法

- 供試品種名：（計5品種）  
極早生：さちあおば、Kyushu1  
早生：はやまき18、タチマサリ、INZ-19
- 播種日：令和6年9月10日  
栽植様式：条播（畦間40cm）、播種量：150g/a
- 1区面積および調査面積：1区6m<sup>2</sup>（2m×3m）、4反復乱塊法
- 施肥量

肥料名	施肥日 月/日	施用量 (kg/a)	要素量 (kg/a)				方法
			N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	
堆厩肥	5/10	300	0.26	2.70	4.00	全面散布	
基肥 合計			0.26	2.70	4.00		
NK2	12/20	4	0.64		0.64	側条施肥	
	4/8, 21	4	0.64		0.64	側条施肥	
追肥 合計		8	1.28		1.28		

## 結 果

### 1 気象概要（図1）

気 温：昨年は9月から11月中旬にかけて平年よりかなり高めに推移した。その後下旬から3月中旬はおおむね平年並みに推移し、3月下旬に平年より高くなったものの、その後平年並みで推移した。

降 水 量：9月は22日まで1mm以下の日が続き、9月下旬、10月上旬、11月上旬にはまとまった降水が見られたが、12月から2月にかけては平年より少ない状態で推移した。3月上旬、中旬、5月上旬には平年を上回る降水量となった。

日照時間：9月、1月、2月には平年を上回る日照時間となったものの、全体としては概ね平年並みに推移した。

### 2 生育概要

- 1) 発芽良否、定着草勢は、全品種で高温少雨の影響を受けたと思われた。（表1）
- 2) 年内刈り時に出穂はほぼなかったが、年内刈りの影響調査のため刈取を行った。年内刈り、春一番草では倒伏は見られず、「はやまき18」、「タチマサリ」、「INZ-19」の春2番草において倒伏が見られた。草丈は年内刈りで「INZ-19」が「はやまき18」に対して有意に高く、春一番草、春2番草では早生品種が極早生品種より有意に高く、春2番草の早生品種の中でも「タチマサリ」が「INZ-19」より有意に高かった。（表1）
- 3) 極早生：春一番の生草収量以外は「Kyushu1」が「さちあおば」を年内刈り・春一番草・春2番草・合計において、生草・乾燥収量とも上回った。
- 4) 早生：年内刈り・春一番草・春2番草・合計のすべてにおいて、生草収量・乾燥収量とも、「INZ-19」が最も多く、次いで「タチマサリ」、「はやまき18」であった。
- 5) 生草収量の合計では「さちあおば」「Kyushu1」より「INZ-19」が有意に多収であり、乾物収量の合計では「さちあおば」「Kyushu1」より「タチマサリ」「INZ-19」が有意に多収であった。

## 総 評

今回の結果では、イタリアンライグラスの極早生を作付する場合、極早生では「Kyushu1」が安定して高収量であった。早生では「INZ-19」、「タチマサリ」、「はやまき18」の順で高収量であった。

これらの成績をもとに、それぞれの作付け形態や給与形態に合った品種の選定をし、自給飼料の増産に努めてもらいたい。

令和7年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

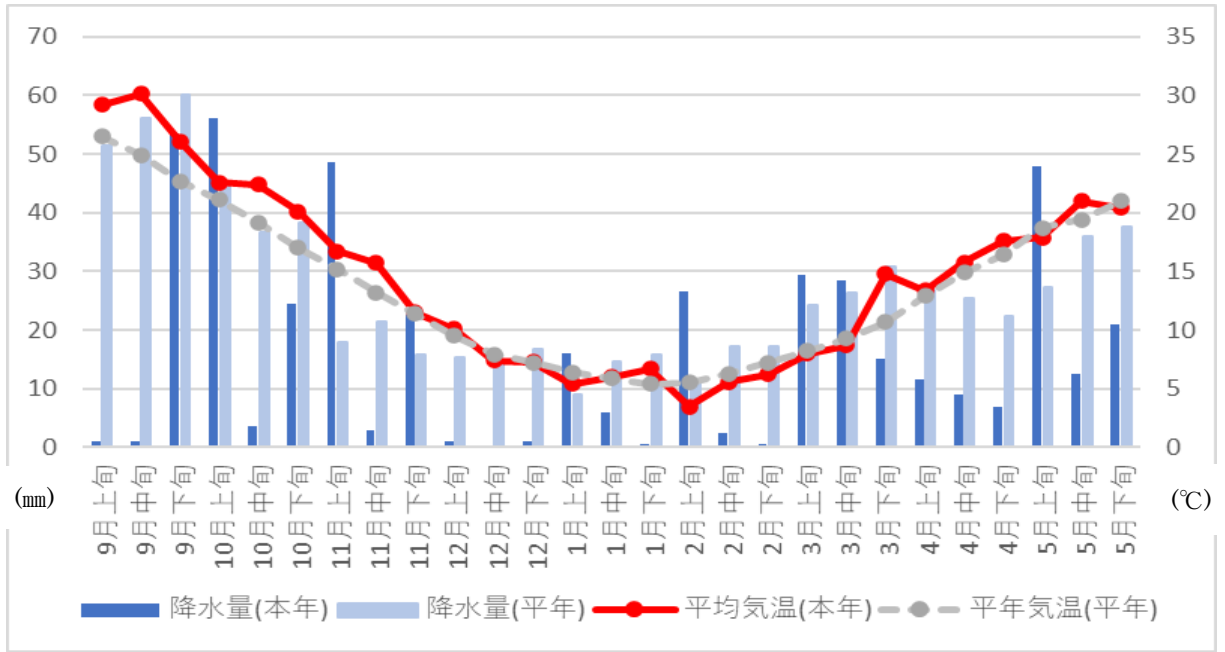


図1 栽培期間気象状況(気象庁ホームページ高松市より、2024年9月～2025年5月)

表1 生育調査結果

調査項目	発芽 良否	定着 草勢	出穂始		収穫日			刈取時出穂程度 無1、極多9		
			年内刈り	春1番	年内刈り	春1番	春2番	年内刈り	春1番	春2番
品種名	10/2 9極良	10/31 9極良	年内刈り	春1番	年内刈り	春1番	春2番	年内刈り	春1番	春2番
さちあおば	5.5	2.8	—	4/3	12/20	4/8	4/30	1.8	8.8	8.8
Kyushu 1	6.3	3.0	—	4/3	12/20	4/8	4/30	1.8	8.8	8.8
はやまき 18	4.3	2.5	—	4/10	12/20	4/21	5/22	1.0	8.8	5.8
タチマサリ	6.8	3.8	—	4/10	12/20	4/21	5/22	1.0	2.5	8.5
INZ-19	7.8	4.0	—	4/10	12/20	4/21	5/22	1.0	5.5	8.8
CV (%)	35.5	25.4	—	—	—	—	—	35.3	48.5	14.4

調査項目	倒伏程度 無1、甚9			草丈(cm)		
	年内刈り	春1番	春2番	年内刈り	春1番	春2番
品種名	年内刈り	春1番	春2番	年内刈り	春1番	春2番
さちあおば	1.0	1.0	1.0	58.0 ab	109.7 b	54.7 c
Kyushu 1	1.0	1.0	1.0	62.1 ab	108.3 b	60.1 c
はやまき 18	1.0	1.0	1.3	47.2 b	126.4 a	87.3 ab
タチマサリ	1.0	1.0	3.3	61.8 ab	131.6 a	94.1 a
INZ-19	1.0	1.0	3.3	67.3 a	125.1 a	83.9 b
CV (%)	0.0	0.0	89.5	14.1	8.3	20.8

同一列の異符号を付した数値間に有意差あり (Tukey 法、 $p < 0.05$ )

令和7年度牧草類優良品種選定試験（イタリアンライグラス）

表2 収量調査結果

調査項目	生草収量 (kg/a)				乾物率 (%)				乾物収量 (kg/a)			
	年内 刈り	春1番	春2番	合計	年内 刈り	春1番	春2番	平均	年内 刈り	春1番	春2番	合計
さちあおば	117.5	361.7	65.8b	545.0b	20.3	22.6	21.0	21.3	23.7ab	81.5	13.8b	119.1b
Kyushu 1	122.9	355.0	86.7b	564.6b	21.9	23.6	20.6	22.0	26.7ab	83.7	18.0b	128.4b
はやまき 18	91.3	456.7	205.8a	753.8ab	22.5	25.5	18.5	22.2	20.2b	115.9	38.0a	174.1ab
タチマサリ	143.3	461.3	205.8a	810.4ab	21.2	26.7	20.1	22.7	30.4ab	122.8	41.4a	194.6a
INZ-19	172.9	510.8	209.2a	892.9a	20.9	24.9	19.6	21.8	35.7a	127.0	40.9a	203.6a
CV (%)	27.4	18.3	43.4	22.1	9.3	0.7	6.6	5.2	25.0	22.2	41.1	23.4

同一列の異符号を付した数値間に有意差あり（Tukey法、 $p < 0.05$ ）